

事業番号	事務事業名		宮島訪問税導入事業					所管課名		宮島企画調整課		所属長名	向井 俊二	
	方向性	3	資源を活かす					係・グループ名		宮島訪問税係				
	重点施策	4	観光ブランド力の向上を図る					根拠法令等		地方税法、宮島訪問税条例				
	施策方針	1	地域資源の磨き上げと受け入れ環境の充実					基本事業						
予算科目	会計	01	款	02	項	01	目	06	事業1	事業2	経・臨	予算上の事業名		
	一般会計		総務費		総務管理費		企画費		018	53	臨	宮島訪問税導入事業		

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☐ 単年度繰返し ☒ 期間限定複数年度 (R1 年度 ~ R5 年度) ☐ 単年度のみ	【全体】宮島への外部からの来訪によって発生・増幅する行政需要に対応するための安定した財源を確保するため、宮島訪問税を導入する。 【令和4年度】徴収開始に向けた準備 ・宮島生活航路運航事業者(JR西日本宮島フェリー、宮島松大汽船)と共同調達する券売機、自動改札機等の運賃・訪問税徴収システムの開発・構築 ・宮島口旅客ターミナル改札建屋等の設置工事 外	・過去2度、宮島における法定外税導入を検討したが課題があり導入に至らず。 ・人口減少、少子高齢化の進行に伴い財政状況が厳しくなる中で、宮島への来訪者の受け入れ環境の整備に対応するため安定した財源である法定外税を再検討。

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容	活動指標(活動の規模)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
・生活航路運航事業者と共同調達する券売機、自動改札機等の運賃・訪問税徴収システムの開発・構築 ・生活航路運航事業者、受注業者との打合せ	→ ア 運賃・訪問税徴収システムの開発		目標 実績	— —	— —	開発 完了	— —	— —
	→ イ 運賃・訪問税徴収システムの構築		目標 実績	— —	— —	— —	構築	— —
	→ ウ		目標 実績	— —	— —	— —	— —	— —
対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の規模)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
・券売機、自動改札機等の運賃・訪問税徴収システム ・宮島生活航路運航事業者(JR西日本宮島フェリー・宮島松大汽船)	→ ア 生活航路運航事業者数	社	見込 実績	2 2	2 2	2 2	2 2	— —
	→ イ		見込 実績	— —	— —	— —	— —	— —
	→ ウ		見込 実績	— —	— —	— —	— —	— —
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
・宮島生活航路運航事業者が納得した徴収システムの開発・構築 ・宮島生活航路運航事業者が円滑に特別徴収を行える改札建屋の設置・改修	→ ア 新システムでの運賃の収受・宮島訪問税の特別徴収		目標 実績	— —	— —	— —	開始	— —
	→ イ 宮島口旅客ターミナル改札建屋等の設置・改修工事		目標 実績	— —	— —	実施設計 完了	工事	— —
	→ ウ		目標 実績	— —	— —	— —	— —	— —
結果(結びつく施策の意図は何か)	施策の成果指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
宮島口・宮島への受入環境の充実 円滑な特別徴収の実現	→ ア 総観光客数(宮島地域)	万人	目標 実績	— 218	— 199	— 379	— —	— —
	→ イ 新システムでの運賃の収受・宮島訪問税の特別徴収		目標 実績	— —	— —	— —	開始	— —

3 事務事業の予算・コスト概要

年度		令和1年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	前年度比	令和5年度(予算)
事業費(A) (円)		1,149,210	3,707,012	8,968,250	131,275,591	122,307,341	224,783,000
財源内訳	国庫支出金					0	
	県支出金					0	
	市 債					0	
	その他特財					0	
	一般財源	1,149,210	3,707,012	8,968,250	131,275,591	122,307,341	224,783,000
業務延べ時間 (時間)		3,321	5,694	6,825	10,000	3,175	
人件費(B) (円)		15,210	24,552	29,965	42,655	12,690	0
トータルコスト(A+B)		1,164,420	3,731,564	8,998,215	131,318,246	122,320,031	224,783,000
主な支出項目			令和4年度(決算)		備考		
宮島口旅客ターミナル既存建屋改修工事実施設計			4,400,000 円				
宮島口旅客ターミナル改札建屋等設置工事			13,811,600 円				
生活航路運航事業者特別徴収機器等整備費補助金			112,507,000 円				
			円				

事業番号	事務事業名	宮島訪問税導入事業	所管課名	宮島企画調整課
------	-------	-----------	------	---------

4 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
宮島への来島者が過去最高から新型コロナウイルス感染症により、来島者が激減した。令和4年度後半から来島者が急激に回復しつつあり、オーバーツーリズムの懸念もある。	・宮島訪問税の導入、制度設計 ・効率的な特別徴収、スムーズな動線の確保 ・宮島訪問税徴収開始の周知、広報 ・持続可能な観光地域づくりの機運醸成	・宮島訪問税の使途の明確化 ・円滑に税徴収が行えるような周知

5 事業評価(令和 4 年度決算の評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)		
	☐ 見直し余地がある ☒ 結びついている	理由 説明	宮島への外部からの来訪によって発生・増幅する行政需要に対応するための安定した財源を確保するための事業であり、宮島訪問税は宮島の受入環境整備に充当する。
	② 市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せるとはできないか。)		
有効性 評価	☐ 見直し余地がある ☒ 妥当である	理由 説明	宮島訪問税徴収開始に向けて、課税庁である市が導入、推進する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)		
	☐ 見直し余地がある ☒ 適切である	理由 説明	宮島訪問税の円滑な特別徴収の実現に向けた対象、意図を設定している。準備に期間を要する生活航路運輸事業者との調整を優先して進めている。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)		
	☐ 向上余地がある ☒ 目標水準に達している	理由 説明	宮島訪問税徴収開始までに改札建屋等の設置工事、徴収システムの構築を完了できる見込みである。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)		
公平性 評価	☐ 影響がない ☒ 影響がある	理由 説明	公に周知した、宮島訪問税の徴収開始日に間に合わないため、廃止、休止できない。
	⑥ 類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)		
	☐ 改善余地がある ☒ 改善余地がない	理由 説明	宮島訪問税の準備期間は、類似事業のない臨時的事業として取り組む。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)		
	☐ 削減余地がある ☒ 削減余地がない	理由 説明	実施事業は、生活航路運輸事業者と協議して仕様を確定させ、宮島口旅客ターミナル改札建屋等設置工事は、港湾施設上の制約等もあり、見直しはできない。また、駅務機器の開発・構築については生活航路運輸事業者が国庫補助も活用している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)		
公平性 評価	☐ 削減余地がある ☒ 削減余地がない	理由 説明	関係者が多い中で、手戻りにならないよう、協議を重ねて事業を推進した。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)		
	☐ 見直し余地がある ☒ 公平・公正である	理由 説明	準備段階における事業者の宮島訪問税に係る負担に対しては公平な支援を行っている。

6 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果			②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性☒ 適切☐ 見直しの余地有り B 有効性☒ 適切☐ 改善の余地有り C 効率性☒ 適切☐ 改善の余地有り D 公平性☒ 適切☐ 見直しの余地有り			宮島訪問税の徴収を開始し、受入環境を充実させるという成果に向けて、関係者と連携を行いながら準備を進めることができ、徴収開始日までに準備完了できる見込みである。																							
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			④改革改善案による成果・コストの期待効果																							
☐ 拡充☒ 現状維持 ☐ 目的再設定☐ 改善 ☐ 休止・廃止☐ 完了		今後の改革改善案		<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (廃止・休止、完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
		コスト																								
		削減	維持			増加																				
成果	向上																									
	維持	○																								
	低下																									
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		宮島訪問税の導入によって目指す持続可能な観光地域づくりへの機運をより一層醸成できるよう周知活動を行う。 宮島訪問税徴収において、非課税者の手間や特別徴収義務者の事務負担を少なくできる工夫を民間事業者とも連携を図りながら検討する。																								
持続可能な観光地域づくりには、地元の関係者の理解も必要であり、様々なステークホルダーと連携できるかが課題となる。また、利用者の利便性を考えた徴収方法は、交通事業者の決済システムとの連携が必須であり交通事業者側の決済システムの方向性に依存している。そのため、交通事業者の決済システムの方向性を注視し、より緊密な連携が必要となる。																										

事業番号	事務事業名		宮島口旅客ターミナル運営事業					所管課名		産業部観光課		所属長名	山田 実	
	方向性	3	資源を活かす					係・グループ名		観光振興係				
	重点施策	4	観光ブランド力の向上を図る					根拠法令等		-				
	施策方針	1	地域資源の磨き上げと受け入れ環境の充実					基本事業						
予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	03	事業1	事業2	経・臨	予算上の事業名		
	一般会計		商工費		商工費		観光費		002	51	経	観光誘客強化事業		

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☒ 単年度繰返し ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度) ☐ 単年度のみ	宮島の玄関口として、また、観光交流拠点として、誘客強化・おもてなし向上を図るため、宮島口旅客ターミナル施設の付加機能部(観光案内・物販・情報発信・賑わいづくり)の運営業務を委託実施している。	令和2年に宮島口旅客ターミナルが完成に合わせ、宮島への玄関口として観光客へのおもてなし対応、情報発信や賑わいづくりを推進するため。

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容	活動指標(活動の規模)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
宮島口旅客ターミナル施設(付加機能部)運営業務	→ ア 観光案内所利用件数(月平均)	件	目標 実績	3,000 1,799	1,800 1,489	2,083 2,311	2,500	2,917
	→ イ		目標 実績					
	→ ウ		目標 実績					
対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の規模)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
観光客	→ ア 総観光客数	万人	見込 実績	- 367	400 329	600 537	700	770
	→ イ		見込 実績					
	→ ウ		見込 実績					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
各種情報媒体を活用し、的確な観光情報を収集し、多くの観光コンテンツを体験・体験できる。	→ ア 宮島地域以外の観光客数	万人	目標 実績	268 148	256 129	258 157	260	262
	→ イ 宮島の観光客数	万人	目標 実績	- 219	- 200	342 380	440	508
	→ ウ		目標 実績					
結果(結びつく施策の意図は何か)	施策の成果指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
宿泊観光客数が伸び、一人当たり消費額が増える	→ ア 市内宿泊観光客数	万人	目標 実績	65 34	65 32	66 46	67	67
	→ イ 観光客一人当たり消費額(観光消費額/観光客数)	円	目標 実績	- 4,146	3,900 3,869	3,900 4,094	4,000	4,000

3 事務事業の予算・コスト概要

年度	令和1年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	前年度比	令和5年度(予算)
事業費(A) (円)		49,000,000	49,000,000	49,000,000	0	49,000,000
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	市債				0	
	その他特財				0	
	一般財源	0	49,000,000	49,000,000	0	49,000,000
業務延べ時間(時間)		190	190	190	0	
人件費(B) (円)	0	818,000	833,000	809,000	-24,000	0
トータルコスト(A+B)		49,818,000	49,833,000	49,809,000	-24,000	49,000,000
主な支出項目		令和4年度決算		備考		
宮島口旅客ターミナル施設(付加機能部)運営業務委託料		49,000,000	円			
			円			
			円			
			円			

4 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、激減した観光客数が回復傾向となっており、今後更に回復・増加が見込まれる。	観光客の動向や各種イベント実施等に合わせ、随時、委託先である(一社)はつかいち観光協会と連携・調整等を実施している。	イベント実施による賑わいの創出など、概ね満足が得られている。

5 事業評価(令和 4 年度決算の評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)		
	☐ 見直し余地がある ☒ 結びついている	理由 説明	宮島と市内各地域をつなぎ、集客と経済効果を高めることに結びついている。
	② 市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)		
有効性 評価	☐ 見直し余地がある ☒ 妥当である	理由 説明	宮島口旅客ターミナルは広島県の港湾施設を市が管理委託を受けているものであり、市が関与すべきである。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)		
	☐ 見直し余地がある ☒ 適切である	理由 説明	宮島と宮島以外の各地域への誘客により市域全体の経済活性化につながる。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)		
	☐ 向上余地がある ☒ 目標水準に達している	理由 説明	はつこいマーケットでの地域産品の販売や、多目的スペース等でのイベント開催、情報センターの展示企画により、市内特産品や宮島への観光客に宮島以外のエリアの魅力を知ってもらえる機会を提供できている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)		
公平性 評価	☐ 影響がない ☒ 影響がある	理由 説明	宮島の玄関口として、フェリー渡航前での情報発信やおもてなしとしての賑わいづくりは必要である。
	⑥ 類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)		
	☐ 改善余地がある ☒ 改善余地がない	理由 説明	類似事業はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)		
	☐ 削減余地がある ☒ 削減余地がない	理由 説明	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、通常稼働の実績がほぼなく、現状では判断が困難である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)		
公平性 評価	☐ 削減余地がある ☒ 削減余地がない	理由 説明	(一社)はつかいち観光協会に委託している。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)		
	☐ 見直し余地がある ☒ 公平・公正である	理由 説明	市域全体の観光誘客の促進、経済活性化につながる。

6 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	☒ 適切 ☐ 見直しの余地有り	コロナ禍の状況中、宮島口の玄関口、観光交流拠点として、市の魅力の発信や賑わいづくりができています。																							
B 有効性	☒ 適切 ☐ 改善の余地有り																								
C 効率性	☒ 適切 ☐ 改善の余地有り																								
D 公平性	☒ 適切 ☐ 見直しの余地有り																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 改革改善案による成果・コストの期待効果																							
☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 目的再設定 ☒ 改善 ☐ 休止・廃止 ☐ 完了	今後の改革改善案 運営開始から3年経過し、コロナ禍からの回復しつつあるため、今後、現状把握・検証等を行い、市内特産品販売や情報発信をより充実させていくとともに、観光客の回復・増加に伴う更なる成果向上や運営方法等の見直しを図る。		<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="2">成果</th><th>向上</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下				
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
低下																									
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
観光情報・データ収集、分析等による、観光客等のニーズ把握、これに伴う効果的な施策・事業実施に係る取組の研究・検討																									

事業番号	事務事業名		包ヶ浦自然公園管理事業					所管課名		観光課		所属長名	山田実
	方向性	3	資源を活かす					係・グループ名		観光施設係			
	重点施策	4	観光ブランド力の向上を図る					根拠法令等		廿日市市宮島包ヶ浦自然公園設置及び管理条例			
	施策方針	1	地域資源の磨き上げと受け入れ環境の充実					基本事業					
予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	05	事業1	事業2	経・臨	予算上の事業名	
	一般会計		商工費		商工費		自然公園費		007	01	経	包ヶ浦自然公園管理事業	

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☐ 単年度繰返し ☒ 期間限定複数年度 (R1 年度～ R5 年度) ☐ 単年度のみ	(1)所在地: 広島県廿日市市宮島町1195番地 (2)面積: 敷地面積 129, 248. 26㎡、延床面積 4, 573. 46㎡ (3)施設内容: 管理センター、家族用ケビン、団体用ケビン、炊事棟、キャンプ場(瀬戸内海国立公園包ヶ浦野営場)、ビーチハウス、ケビンハウス、テニスコート、海水浴場、運動広場(グラウンド)など (4)運営方法: 指定管理	昭和32年に自然公園法における集団施設地区の指定を受け、昭和54年から積極的な施設整備が行われている。

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容	活動指標(活動の規模)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
・ケビン等の宿泊施設の管理運営 ・海水浴場の管理運営 ・施設の修繕、指定管理者との連絡調整	→ ア 維持管理経費	千円	目標 実績	72,860 46,694	66,021 44,742	66,021 63,944	66,021	
	→ イ		目標 実績					
	→ ウ		目標 実績					
対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の規模)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
施設利用者	→ ア 宿泊者数(ケビン)	人	見込 実績	13,730 2,908	10,675 3,013	10,675 3,423	8,570	
	→ イ 宿泊者数(キャンプ場)	人	見込 実績	3,500 3,148	3,600 2,732	3,600 2,276		
	→ ウ グラウンド・海岸等利用者数	人	見込 実績	15,000 11,816	16,000 9,656	16,000 13,789		
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
顧客満足度の向上	→ ア 稼働率(家族用ケビン)	%	目標 実績	10 6.6	11 6.5	11 7.1	12	
	→ イ 稼働率(Bケビン)	%	目標 実績	10 5.2	11 6.6	11 9.9	12	
	→ ウ 稼働率(団体ケビン)	%	目標 実績	10 1.9	11 1.6	11 1.6	12	
結果(結びつく施策の意図は何か)	施策の成果指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
宿泊観光客数が伸び、一人当たり消費額が増える	→ ア 市内宿泊観光客数	万人	目標 実績	65 34	65 32	66 46	67	
	→ イ 観光客一人当たり消費額(観光消費額/観光客数)	円	目標 実績	4,146 4,146	3,900 3,896	3,900 4,094	4,000	

3 事務事業の予算・コスト概要

年度		令和1年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	前年度比	令和5年度(予算)
事業費(A) (円)		19,658,019	24,397,089	32,259,178	22,238,152	-10,021,026	12,249,185
財源内訳	国庫支出金					0	
	県支出金	376,000	395,000	395,000	1,594,280	1,199,280	1,835,000
	市債					0	
	その他特財	232,313	231,633	225,040	168,069	-56,971	229,000
	一般財源	19,049,706	23,770,456	31,639,138	20,475,803	-11,163,335	10,185,185
業務延べ時間(時間)		780	780	780	780	0	
人件費(B) (円)		3,572,000	3,363,000	3,424,000	3,327,000	-97,000	0
トータルコスト(A+B)		23,230,019	27,760,089	35,683,178	25,565,152	-10,118,026	12,249,185
主な支出項目			令和4年度(決算)		備考		
指定管理委託料			10,910,652 円		※ 令和4年度については、電気料金等の高騰に対応するため、指定管理料を追加した。		
			円				
			円				
			円				

事業番号	事務事業名	包ヶ浦自然公園管理事業	所管課名	観光課
------	-------	-------------	------	-----

4 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
今後の指定管理の在り方を検討する中で、令和3年度に観光庁が実施した「上質な宿泊施設の開発促進事業」に宮島包ヶ浦自然公園が採択された。そのため、令和4年度は、指定管理が満了する令和5年度末を目標に上質な宿泊施設の誘致の取組を行った。	平成28年度から令和2年度にかけて、家族用ケビン、団体用ケビンなどのリニューアル工事を行った。 総事業費 約2億9千万円	指定管理者からは、各所修繕や維持管理について要望が上がっている。

5 事業評価(令和 4 年度決算の評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)		
	☐ 見直し余地がある ☒ 結びついている	理由 説明	目的に対して、施策は適当である。
	② 市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せるとはできないか。)		
有効性 評価	☒ 見直し余地がある ☐ 妥当である	理由 説明	民間活力の導入により利用者数の改善が図れると思われるため、市が関与する必要性は低い。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)		
	☐ 見直し余地がある ☒ 適切である	理由 説明	民間事業者の提案により、現在の対象や意図の方向性が変わる可能性がある。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)		
	☒ 向上余地がある ☐ 目標水準に達している	理由 説明	民間活力の導入によって、成果の向上が見込まれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)		
公平性 評価	☐ 影響がない ☒ 影響がある	理由 説明	音楽フェスティバルなどのイベントを行うための広い敷地は、宮島島内ではここにしかない。
	⑥ 類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)		
	☒ 改善余地がある ☐ 改善余地がない	理由 説明	宮島島内には複数の民間宿泊施設がある。またキャンプ施設は市内に包ヶ浦の他に5か所ある。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)		
	☐ 削減余地がある ☒ 削減余地がない	理由 説明	令和5年度は指定管理により削減余地はない、令和6年度以降は民間活力導入により削減余地がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)		
公平性 評価	☒ 削減余地がある ☐ 削減余地がない	理由 説明	民間活力の導入(民間譲渡)
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)		
	☐ 見直し余地がある ☒ 公平・公正である	理由 説明	ケビンなどを利用する場合、予約や利用料金が必要なため、公平・公正となっている。

6 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果			②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性☒ 適切☐ 見直しの余地有り B 有効性☐ 適切☒ 改善の余地有り C 効率性☐ 適切☒ 改善の余地有り D 公平性☒ 適切☐ 見直しの余地有り			宮島包ヶ浦自然公園は、施策に直結するが、稼働率の低下からも明らかのように、利用者は少ない状況である。民間活力導入による抜本的改革が必要である。																							
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			④改革改善案による成果・コストの期待効果																							
☐ 拡充☐ 現状維持 ☐ 目的再設定☐ 改善 ☒ 休止・廃止☐ 完了		今後の改革改善案		<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持			増加																				
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
		民間譲渡することにより民間活力を導入していく。																								
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題																										
令和5年度、令和6年度で、民間譲渡に向けた準備を進めていく。			(廃止・休止、完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名		宮島水族館広報宣伝・営業事業					所管課名		産業部宮島水族館企画室		所属長名		北岡 裕二		
	方向性	3	資源を活かす					係・グループ名								
	重点施策	4	観光ブランド力の向上を図る					根拠法令等								
	施策方針	1	地域資源の磨き上げと受け入れ環境の充実					基本事業								
予算科目	会計	45	款	01	項	01	目	01	事業1	事業2	経・臨	予算上の事業名				
	宮島水族館事業特別会計		水族館事業費		水族館事業費		一般管理費		003	01	経常	水族館一般管理事業				

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☒ 単年度繰返し ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度) ☐ 単年度のみ	・各種メディア、SNSを使った広報宣伝 ・ホームページ更新管理 ・各種PR活動、PRツールの制作 ・イベント企画提案 ・団体、修学旅行誘致 ・旅行パンフレットへの掲載	宮島水族館の魅力を国内外に発信し、水族館に訪れたいという印象的、魅力的な企画やイベントの実施や効果的な営業活動を行い、目標としている年間入館者数50万人以上を達成するため、平成29年度に公募型プロポーザルを実施した。

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容	活動指標(活動の規模)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
広報宣伝・営業	→ ア テレビスポットCM	期	目標 実績	4 4	4 2	4 2	4 2	4 2
	→ イ 宮島桟橋でのチラシ配布	回	目標 実績	35 0	35 0	35 0	35 0	35 0
	→ ウ 学校訪問等の営業日数	回	目標 実績	45 8	45 5	45 6	45 6	45 6
対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の規模)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
観光客	→ ア 宮島への来島者数	万人	見込 実績	430 182	430 196	430 345	430 345	430 345
	→ イ		見込 実績					
	→ ウ		見込 実績					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
・来館を促進する ・入館者数50万人以上の達成	→ ア 宮島への来島者のうち水族館に入館する人の割合	%	目標 実績	12 13	12 14	12 14	12 14	12 14
	→ イ 入館者数	千人	目標 実績	516 231	516 273	516 471	516 471	516 471
	→ ウ		目標 実績					
結果(結びつく施策の意図は何か)	施策の成果指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
宿泊観光客数が伸び、一人当たり消費額が増える	→ ア 観光客一人当たり消費額(観光消費額/観光客数)	円	目標 実績	— 4,146	3,900 3,869	3,900 4,094	4,000 4,000	4,000 4,000
	→ イ		目標 実績					

3 事務事業の予算・コスト概要

年度		令和1年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	前年度比	令和5年度(予算)
事業費(A) (円)		40,000,000	38,000,000	50,000,000	33,000,000	-17,000,000	30,000,000
財源内訳	国庫支出金					0	
	県支出金					0	
	市 債					0	
	その他特財	40,000,000	38,000,000	50,000,000	33,000,000	-17,000,000	30,000,000
	一般財源	0	0	0	0	0	0
業務延べ時間 (時間)		190	180	240	160	-80	
人件費(B) (円)		870,000	776,000	1,053,000	682,000	-371,000	0
トータルコスト(A+B)		40,870,000	38,776,000	51,053,000	33,682,000	-17,371,000	30,000,000
主な支出項目			令和4年度(決算)		備考		
広報宣伝・営業業務委託料			33,000,000	円			
				円			
				円			
				円			

4 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
宮島への来島者は、新型コロナの影響で令和2年度及び令和3年度は落ち込んだが、令和4年度に入り回復基調となり、外国人観光客も増加している。 メディアに関しては、テレビ中心ではあるが、WebやSNSなどのデジタルメディアへの接触時間が伸びている。	近年は、テレビCMに加えフェイスブック、ツイッターなどのSNSによる情報発信を行っている。 令和4年度は、それらに加えデジタル広告(YouTube、見逃し配信サイト)を使用した情報発信を行った。	「5G」の普及によりデジタルメディアへの接触時間は、今後さらに伸びていくことが予想される。

5 事業評価(令和 4 年度決算の評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)		
	☐ 見直し余地がある ☒ 結びついている	理由 説明	集客力と滞在時間の延長など市全域の観光振興と地域経済の活性化に寄与できている。
	② 市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)		
有効性 評価	☐ 見直し余地がある ☒ 妥当である	理由 説明	宮島の西地域の観光拠点としての役割を果たすとともに、滞在時間の延長を図るなど、市の観光振興に貢献する施設であるためには必要な事業である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)		
	☐ 見直し余地がある ☒ 適切である	理由 説明	対象は観光客、意図は来館促進で妥当である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)		
	☒ 向上余地がある ☐ 目標水準に達している	理由 説明	宮島への来島者に対し、水族館の存在や展示内容、各種イベント等を周知する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)		
公平性 評価	☐ 影響がない ☒ 影響がある	理由 説明	宮島水族館の魅力を国内外に発信するにはこの事業以外にない。
	⑥ 類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)		
	☒ 改善余地がある ☐ 改善余地がない	理由 説明	テレビやSNSによる広報が中心ではあるが、アナログ的な紙媒体も活用できる。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)		
	☐ 削減余地がある ☒ 削減余地がない	理由 説明	効果の上がる広報にのみ集中的に投資している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)		
公平性 評価	☐ 削減余地がある ☒ 削減余地がない	理由 説明	専門的な知識が必要であり、成果水準確保のため広告代理店への委託で実施している。人件費の削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)		
	☐ 見直し余地がある ☒ 公平・公正である	理由 説明	不特定多数に向けた広報であり、公平である。

6 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果			②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性☒ 適切☐ 見直しの余地有り B 有効性☐ 適切☒ 改善の余地有り C 効率性☒ 適切☐ 改善の余地有り D 公平性☒ 適切☐ 見直しの余地有り			宮島水族館の魅力を国内外に発信し、水族館を訪れたいような印象的、魅力的な企画イベントの実施、並びに効果的な営業活動を行い、目標としている年間入館者数50万人以上を達成するため、引き続き専門的知識を有する民間事業者に委託する。																							
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			④改革改善案による成果・コストの期待効果																							
☐ 拡充☒ 現状維持 ☐ 目的再設定☐ 改善 ☐ 休止・廃止☐ 完了 今後の改革改善案 観光客の動向など注視し、適切なPR戦略の元、効果的な広報を行う。			<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table> (廃止・休止、完了の場合は記入不要)					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減				維持	増加																			
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題																										
観光客の生の声をどのようにして把握していくか。																										